

加斗地区



村づくり計画マスタープラン

ふるさと加斗の未来に向けて
みんなで見つめ、話し合い、取り組もう！



2013年(平成25年)3月

加斗夢づくりコミュニティ委員会

目 次

第 1 章 産業委員会

- 魅力にあふれ、活力ある産業の振興を目指して..... 1 ~ 2
- 1 里づくり事業
 - 2 山林整備事業
 - 3 沿岸地域活性化事業
 - 4 雇用創出事業

第 2 章 福祉・環境委員会

- 「住みやすい、村づくり」を目指して 3 ~ 4
- 1 地域の環境整備
 - 2 健康で、生きがいもてる村づくり
 - 3 安全、安心な暮らし
 - 4 社会貢献活動の推進

第 3 章 歴史・教育委員会

- 伝統文化を守り、学び・ふれあい・いやせる里づくりを目指して..... 5 ~ 6
- 1 加斗の歴史を学ぶ
 - 2 地区の昔の写真展
 - 3 地区の名所、秘宝の再認識
 - 4 昔遊びの伝承
 - 5 加斗地区紹介パンフレット作成

加斗地区夢づくりコミュニティ委員会委員名簿..... 7



加斗の花 “ ひまわり ”

はじめに

「村づくり計画マスタープラン」のまとめにあたって

皆様には日頃からふるさとづくり事業につきまして、ご支援ご協力を賜り心から深く感謝申し上げます。

平成 16 年に「加斗地区新世紀村づくり委員会」が「加斗地区長期計画」をまとめ、ふるさとづくり事業を進めてまいりました。

このたび、小浜市が平成 23 年に発表した「第 5 次小浜市総合計画」の中で、「協働のまちづくり」基本指針の策定をうけて、昨年「加斗夢づくりコミュニティ委員会」を設立し関係各位のご協力をいただき、加斗地区の新たな計画をここに「村づくり計画マスタープラン」としてまとめました。

近年、防犯・防災、環境、福祉、教育など、個人や家庭だけでは解決しがたい課題が増えてきています。こうした中、顔が見える地域で声を掛け、支え合える関係を育む地域コミュニティの果たす役割が見直されています。

個人では解決できない地域を取り巻く課題を「住民・団体・事業者・行政」が一体となり「私達の問題」として共有することで、柔軟できめ細やかな対応ができるようになります。だれもが安全に安心して暮らし、住みやすい、住んで良かったと実感できるふるさとを、みんなの力を合わせて創ることが求められています。

もし散歩を日課としておられるなら、散歩をしながら防犯パトロール隊員として活躍ができます。地区で危険箇所マップを作るときには情報通信員として役割を担えるかもしれません。趣味でもの作りやスポーツをやっておられたら、その時間を少し振り分けることで、放課後や休日の子供達の遊びをサポートする活動に参加することができます。普段の活動に参加できなくても、企画のアイデアを出したりすることもできます。

村づくりは特別なことではありません。身近なことからだれもが参加できます。皆さんの持っている情報や特技、行動力を少しだけ地域や他の人に振り向けて下さい。その気持ちがふるさとづくりの第一歩だと思います。

ふるさと加斗の未来に向けて みんなで見つめ 話し合い 取り組もう！

おわりに、「村づくり計画マスタープラン」を作成するにあたり、議論を重ねていただいた委員の皆様、関係各位に心から感謝申し上げます。

加斗夢づくりコミュニティ委員長 森本信二

テーマ : 魅力にあふれ、活力ある産業の振興を目指して

加斗地区は、ナタオレノキの最北限地で国の天然記念物に指定されている「蒼島暖地性植物群落」や国の指定史跡「岡津製塩遺跡」をはじめ「若狭鯉川シーサイドパーク」、「勢浜海水浴場」など海の資源に恵まれた地域です。

また、若狭三山の一つといわれる「飯盛山」、その中腹にある「飯盛寺」など山のエリアでも豊かな資源があります。

里に目を向けると田園地帯を抱えており、産業面でも海・山・里の連携した村づくりが期待できます。

今後、小浜西インターを有する舞鶴若狭自動車道や若狭西街道などにより、都市部との交流も容易になったことから、遊休地の土地利用、都市農村交流など新たな視点から産業振興を図り、住民が積極的に村づくりに参加出来る環境をつくり、地区の発展を目指します。

《取り組み概要》

1．里づくり事業

遊休農地を生かした土地利用、新たな農業振興をすすめ、地元住民の生きがいを目指すとともに、景観整備をすることにより地区外の人に関心を持ってもらうことを目指す。

2．山林整備事業

豊かな水を供給する森を整備し、山歩き、自然体験などの新たな森林の価値を見出すことにより継続的な整備を目指す。

3．沿岸地域活性化事業

2つの海水浴場を中心に沿岸地域における観光事業をすすめ、小浜の西玄関口として加斗地区が位置づけられるように発展を目指す。

4．雇用創出事業

豊かな自然を活かした村づくりの中で、若者や私たちの雇用創出を図ることを目指す。

具体的取り組み内容（産業委員会）

事業名	事業内容	実施計画（平成25年4月～）			実施主体
		短期(1～2年)	中期(3～4年)	長期(5年以上)	
 里づくり事業 	砂ゴケ栽培	試験栽培	実施	実施	協働（Cネットふくい）
	田んぼアート	アートの場所	アート実施		地区
	加斗イチゴのブランド化	栽培場所選定 試験栽培	実施	実施	協働（Cネットふくい・JA若狭・飯盛農産）
	花による景観整備	試験栽培	実施	実施	地区
	加斗地区に伝わる野菜・果物・穀物ブランド化	調査・試験栽培	試験栽培	実施	地区
	農業体験ツアー	一日加斗農業体験ツアー 検討	一日加斗農業体験ツアー 実施	継続	協働（JA若狭・飯盛農産）
	地域の村まつり	継続と新たな場所の検討	マンネリ打破	継続	地区
	カカシコンテスト	地区より集めて実施。	継続	継続	地区
山林整備事業 	飯盛山登山道整備	現状調査・草刈 （上加斗より）	実施	継続	協働（小浜市）
	竹林整備（勢浜）	加斗ク LOVE が主動	継続	継続	地区
	炭焼き体験	調査・実施	実施	継続	地区
沿岸地域活性化事業 	若狭鯉川シーサイドパークの活用	魚釣大会2会場で行う。（若狭鯉川シーサイドパーク・勢浜海水浴場）			協働（小浜市・Cネットふくい）
		ビーチソフトバレーボール大会 ⇨ Cネットと共催			協働（Cネットふくい）
		バーベキュー大会 ⇨ 婚活も合わせて実行			協働（Cネットふくい）
	沿岸地域活用	県立大学・小浜水産高校（若狭高校）との連携			協働（小浜市・県立大学・小浜水産高校〔若狭高校〕）
雇用創出事業	自然を活かした起業の誘致	若者や地元の人たちが、楽しんで仕事ができる起業の創出			地区 協働（福井県・小浜市・その他）

第2章 福祉・環境委員会

テーマ：「住みやすい村づくり」を目指して

子供から高齢者に至るまで加斗地区に住む者にとって人との交流、環境、福祉、安全面に於いて充実さを満たし、生きがいとやすらぎが感じられ、暮らすことに誇りがもてる村づくりを目指す。

【取り組み概要】

1．地域の環境整備

地域の環境美化活動を通じて美しく、快適な地域環境の向上を目指すと共に、公共地、遊休地等の有効活用化を図る。



若狭自転車道

2．健康で、生きがいもてる村づくり

住む人が健康で、長生きし、生きがいをもって生活が出来る風土づくりを行い、生活環境の向上を目指す。

3．安全、安心な暮らし

地域に於ける、いじめ、非行、犯罪のない村づくりを目指す。

突発的な災害に対しては普段より自助、共助を呼び掛け、防災対策の意識向上を図る。

4．社会貢献活動の推進

地域、社会に役立つ人材づくりで、共助の輪を広げ弱者に手を差し伸べる村づくりを目指す。

具体的取り組み内容（福祉・環境委員会）

事業名	事業内容	実施計画（平成25年4月～）			実施主体
		短期(1～2年)	中期(3～4年)	長期(5年以上)	
地域の環境整備	学校、児童館、保育園、公民館、加斗駅周辺や遊休農地の美化活動	継続実施（ひまわり・コスモスの花）（草刈整地等） 公民館前農村公園の整備	継続	公共の遊休地等の有効活用 加斗駅周辺	地区 協働（小浜市）
健康で、生きがい がもてる村づくり 	健康診断の受診率向上に対する取り組み。	啓蒙活動（加斗地区の受診率公表）	継続	継続	地区
	いきいき夢まつりの実施	継続と新たな開催場所の検討	継続と祭り内容の検討	継続	地区 協働（Cネットふくい）
	趣味、サークルの活動支援	サークルの登録を増やす	継続	継続	地区
	健康ウォークの実施	地区健康ウォークの実施	継続	継続	地区
	子どもが学んで、遊べる環境づくり	世代間交流の継続 空き家の調査・修繕と利用（寺子屋）	継続 継続	継続 継続	地区 地区
安全、安心な暮らし 	挨拶運動の実施	地区民が積極的挨拶運動を実施（看板設置）	継続	継続	地区
	通学見守り隊による犯罪未然防止	地区協力体制の検討（継続）	継続	継続	地区
	地域内での不法投棄、ポイ捨てパトロールの実施	計画を立て実施（パトロール隊）と看板設置	継続	継続	地区
	防災意識の向上	避難訓練・AEDの使い方は継続的に実施			地区 協働（消防署・小浜市）
社会貢献活動の 推進	介護ボランティア研修会の実施	車椅子の取扱い方 ローリングボールの体験・高齢者疑似体験 在宅介護についての勉強会の継続			協働（社会福祉協議会・小浜市）
	ボランティア	高齢者宅除雪			地区
	資源回収	アルミ缶（PTA活動に協力）・ペットボトルのキャップやプルトップ収集は継続的に実施			地区
	認知症への取り組み	サポーター制度の確立	サポーター員登録・研修	継続	地区

第3章 歴史・教育委員会

テーマ： 伝統文化を守り、学び・ふれあい・いやせる里づくりを目指して

加斗地区に残る文化財、名所旧跡などの伝統や文化遺産を保存、活用するとともに、後世に語り伝え、お互いに学び・ふれあい・いやせる里づくりを目指す。

【取り組み概要】

1．加斗の歴史を学ぶ

加斗地区に残る歴史・文化遺産を調査し、語り部を育成して地区で講演会や教室を開催し後世に伝え残していくことを目指す。

2．地区の昔の写真展

加斗地区の歴史写真を収集し、地区民に公開することにより、加斗の素晴らしさを再認識してもらい、後世に伝え残していくことを目指す。

3．地区の名所、秘宝の再認識

加斗地区に住みながら、行ったことのない素晴らしい場所を、地区民で行ってみて、ふれてみて、体験することにより後世に残していくことを目指す。

4．昔遊びの伝承

加斗地区に伝わる、昔遊びを体験し子供たちに伝え残していくことを目指す。



5．加斗地区紹介パンフレットの作成

九つの里を紹介したマップや看板を作成し、地区民に配布し再認識してもらい、加斗へ来られた方にも配布することにより加斗の良さを知っていただくことを目指す。

具体的取り組み内容（歴史・教育委員会）

事業名	事業内容	実施計画（平成25年4月～）			実施主体
		短期(1～2年)	中期(3～4年)	長期(5年以上)	
加斗の歴史を学ぶ	歴史遺産を調べる	調査	調査	調査完了	地区
	加斗の語り部発掘	人材育成	語り部登録	語り部の実施	地区
	集落で誇れる行事を残す	調査（太鼓・古くから伝わる伝統行事）	登録（公民館）	完了	地区
地区の昔の写真展	加斗地区の歴史を写真で残す	写真の収集 （小学校・JR 加斗駅・国道27号線・行事・台風災害）	写真展の実施 （写真集編纂）	写真集の完成	地区
地区の名所秘宝の再認識	蒼島、飯盛山、岡津製塩遺跡や各集落の堤、寺、神社	加斗の史跡探求ウォーキング大会を開催	継続	継続	地区
昔遊びの伝承	集落に伝わる昔遊びを世代間交流を通し伝承	昔遊びの発掘調査・実施	継続	継続	地区
加斗紹介パンフレットの作成	九つの里をマップや看板にしてPR	マップ作成	PR看板の設置	継続	地区



国指定文化財である岡津製塩遺跡

本遺跡は、古墳時代後期から奈良時代にかけてのもので、9基の遺跡が検出された。ここで生産された塩が奈良の都へ税（調塩）として納められていた。

加斗地区夢づくりコミュニティ委員会委員名簿

平成 24 年度

会 長	森本信二
副 会 長	栗原茂・木村武史
監 事	地村忠司・清水正明
事務局長	大井幹夫

産 業 委 員 会

委 員 長	木村武史
副委員長	烏奥博樹
委 員	服部國昭・小畑正純・地村豊司・木村穰 地村忠司・永井一幸・白木亜弥

福 祉 ・ 環 境 委 員 会

委 員 長	清水正明
副委員長	松井直美
委 員	伊崎直樹・城谷照子・中嶋勇人 栗原茂・中山幸治・吉村貞樹・森下雅至・大井幹夫

歴 史 ・ 教 育 委 員 会

委 員 長	森本信二
副委員長	稲葉隆
委 員	木橋直和・清水良治・福田雅一・池田和之・渡邊小春 松井竜太郎・中川英尚・亀江文枝

顧 問

三 木 尚
能 登 恵 子

(市議会議員・区長会・老人クラブ会長・婦人会会長は役職年度により交替)

『加斗地区村づくり計画マスタープラン』

発 行 平成25年3月

発 行 者 加斗夢づくりコミュニティ委員会

編 集 加斗公民館
福井県小浜市加斗30-35
電話(0770)52-5136

印 刷 平田印刷
福井県小浜市千種1丁目4-23
電話(0770)52-1618
